

第98号議案

令和8年度大村市下水道事業会計補正予算（第2号）

第1条 令和8年度大村市下水道事業会計の補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

第2条 令和8年度大村市下水道事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
	収 入		
第1款 下水道事業収益	3,243,822 千円	5,500 千円	3,249,322 千円
第1項 営業収益	2,080,892 千円	5,500 千円	2,086,392 千円
	支 出		
第1款 下水道事業費用	3,032,295 千円	5,500 千円	3,037,795 千円
第1項 営業費用	2,813,426 千円	5,500 千円	2,818,926 千円

第3条 予算第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
	収 入		
第1款 資本的収入	1,581,872 千円	13,000 千円	1,594,872 千円
第2項 負担金及び分担金	24,322 千円	13,000 千円	37,322 千円
	支 出		
第1款 資本的支出	2,893,314 千円	13,000 千円	2,906,314 千円
第1項 建設改良費	2,017,636 千円	13,000 千円	2,030,636 千円

令和8年9月3日提出

大村市長 園 田 裕 史

附 属 書 類

目 次

- 1 令和8年度大村市下水道事業会計補正予算実施計画…………… 4 頁
- 2 令和8年度大村市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書…………… 5 頁
- 3 令和8年度大村市下水道事業予定貸借対照表（当年度分）…………… 6 頁

令和8年度大村市下水道事業会計補正予算実施計画

収益的收入及び支出

収 入

款	項	目	既決予定額 (千円)	補正予定額 (千円)	計 (千円)	備 考
1 下水道事業収			3,243,822	5,500	3,249,322	
	1 営業収益		2,080,892	5,500	2,086,392	
		2 雨水処理金 負担金	171,135	5,500	176,635	

支 出

款	項	目	既決予定額 (千円)	補正予定額 (千円)	計 (千円)	備 考
1 下水道事業費			3,032,295	5,500	3,037,795	
	1 営業費用		2,813,426	5,500	2,818,926	
		1 管渠費	163,110	5,500	168,610	

資本的收入及び支出

収 入

款	項	目	既決予定額 (千円)	補正予定額 (千円)	計 (千円)	備 考
1 資本的收入			1,581,872	13,000	1,594,872	
	2 負担金及び 分担金		24,322	13,000	37,322	
		2 工事負担金	24,322	13,000	37,322	污水管移設工事 負担金

支 出

款	項	目	既決予定額 (千円)	補正予定額 (千円)	計 (千円)	備 考
1 資本的支出			2,893,314	13,000	2,906,314	
	1 建設改良費		2,017,636	13,000	2,030,636	
		3 単独事業	227,698	13,000	240,698	

令和8年度大村市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

	既決予定額 千円	補正予定額 千円	計 千円
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	186,551	0	186,551
減価償却費	1,412,930	0	1,412,930
固定資産除却費	21,231	0	21,231
貸倒引当金の増減額（△は減少）	396	0	396
退職給付引当金の増減額（△は減少）	0	0	0
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,287	0	1,287
法定福利費引当金の増減額（△は減少）	236	0	236
修繕引当金の増減額（△は減少）	0	0	0
長期前受金戻入額	△643,074	0	△643,074
受取利息及び配当金	△3,803	0	△3,803
支払利息	146,681	0	146,681
有形固定資産売却損益（△は益）	0	0	0
未収金の増減額（△は増加）	△92,642	△2,599	△95,241
未払金の増減額（△は減少）	△111,046	3,454	△107,593
前払金の増減額（△は増加）	58,457	0	58,457
小計	977,204	855	978,059
利息及び配当金の受取額	3,803	0	3,803
利息の支払額	△146,681	0	△146,681
業務活動によるキャッシュ・フロー	834,326	855	835,181
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△2,278,426	△11,819	△2,290,245
有形固定資産の売却による収入	1	0	1
無形固定資産の取得による支出	△8,945	0	△8,945
無形固定資産の売却による収入	0	0	0
有価証券の取得による支出	0	0	0
有価証券の売却による収入	1	0	1
国庫補助金等による収入	795,179	0	795,179
一般会計からの繰入金による収入	83,168	△1	83,167
負担金による収入	62,289	11,819	74,108
寄附金による収入	1	0	1
その他投資による支出	0	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,346,732	△1	△1,346,733
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	800,900	0	800,900
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△805,609	0	△805,609
その他の企業債による収入	0	0	0
その他の企業債の償還による支出	△60,069	0	△60,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64,778	0	△64,778
資金の増加額（又は減少額）	△577,184	854	△576,330
資金期首残高	3,536,238	0	3,536,238
資金期末残高	2,959,054	854	2,959,908

令和8年度大村市下水道事業予定貸借対照表（当年度分）

（令和9年3月31日）

		資 産 の 部			
1	固 定 資 産	円	円	円	円
(1)	有 形 固 定 資 産				
イ	土 地		2,306,636,796		
ロ	建 物	2,065,368,108			
	減価償却累計額	<u>△1,021,185,217</u>	1,044,182,891		
ハ	建物付属設備	27,056,675			
	減価償却累計額	<u>△20,443,016</u>	6,613,659		
ニ	構 築 物	55,009,202,671			
	減価償却累計額	<u>△23,039,559,401</u>	31,969,643,270		
ホ	機械及び装置	13,277,854,609			
	減価償却累計額	<u>△7,566,929,338</u>	5,710,925,271		
ヘ	車両運搬具	6,592,863			
	減価償却累計額	<u>△5,431,570</u>	1,161,293		
ト	工具器具及び備品	44,044,128			
	減価償却累計額	<u>△31,030,524</u>	13,013,604		
チ	建設仮勘定		<u>739,582,000</u>		
	有形固定資産合計			41,791,758,784	
(2)	無 形 固 定 資 産				
イ	流域下水道利用権		135,160,153		
ロ	ソフトウェア		1,100		
ハ	その他無形固定資産		<u>700,817</u>		
	無形固定資産合計			135,862,070	
(3)	投資その他の資産				
イ	投資有価証券		199,999,000		
ロ	その他投資		<u>59,270</u>		
	投資合計			<u>200,058,270</u>	
	固定資産合計				42,127,679,124
2	流 動 資 産				
(1)	現 金 預 金		2,959,908,232		
(2)	未 収 金		306,793,779		
	貸倒引当金		<u>△1,104,000</u>	305,689,779	
(3)	前 払 金			<u>0</u>	
	流動資産合計				<u>3,265,598,011</u>
	資 産 合 計				<u>45,393,277,135</u>

負債の部

3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	8,612,574,589		
ロ その他の企業債	<u>94,294,228</u>		
企業債合計		8,706,868,817	
(2) 引当金			
イ 退職給付引当金	133,665,954		
ロ 修繕引当金	<u>78,612,003</u>		
引当金合計		<u>212,277,957</u>	
固定負債合計			8,919,146,774
4 流動負債			
(1) 一時借入金		0	
(2) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	918,497,889		
ロ その他の企業債	<u>72,720,950</u>		
企業債合計		991,218,839	
(3) 未払金		890,700,460	
(4) 預り金		4,136,378	
(5) 引当金			
イ 賞与引当金	14,836,000		
ロ 法定福利費引当金	2,948,000		
ハ 修繕引当金	<u>0</u>		
引当金合計		<u>17,784,000</u>	
流動負債合計			1,903,839,677
5 繰延収益			
(1) 長期前受金		36,872,786,858	
(2) 長期前受金		<u>△15,797,754,105</u>	
収益化累計額			
繰延収益合計			<u>21,075,032,753</u>
負債合計			31,898,019,204

資本の部

6 資本金			9,273,365,909
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 他会計補助金	1,203,533,014		
ロ 国庫補助金	2,218,407,227		
ハ 工事負担金	122,569,890		
ニ 受贈財産評価額	122,815,711		
ホ 寄附金	972,388		
ヘ 受益者負担金	151,350,586		
ト 国県交付金	<u>24,592,888</u>		
資本剰余金合計		3,844,241,704	
(2) 利益剰余金			
イ 建設改良積立金	190,000,000		
ロ 当年度未処分利益剰余金	<u>187,650,318</u>		
利益剰余金合計		<u>377,650,318</u>	
剰余金合計			<u>4,221,892,022</u>
資本合計			<u>13,495,257,931</u>
負債資本合計			<u>45,393,277,135</u>

注記

I 重要な会計方針

平成26年度から、改定後の地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

- ・減価償却の方法 定額法による。
- ・主な耐用年数
 - 建物 15～50年
 - 構築物 10～50年
 - 機械及び装置 15年
 - 工具・器具及び備品 4～15年

(2) 無形固定資産

- ・減価償却の方法 定額法による。
- ・主な耐用年数
 - 流域下水道利用権 20～50年
 - ソフトウェア 5年

2 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度手当の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率により、回収不能見込額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

Ⅱ 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

令和8年度において、貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものを含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は5,203,607千円である。

2 令和8 予定貸借対照表における引当金の取崩し

（1）賞与引当金の取崩し

令和8年度において、期末手当及び勤勉手当として支給するため、賞与引当金13,549千円を取り崩すこととする。

（2）法定福利費引当金の取崩し

令和8年度において、期末手当及び勤勉手当の支給に伴う法定福利費として支払うため、法定福利費引当金2,712千円を取り崩すこととする。

（3）貸倒引当金の取崩し

令和8年度において、債権の不納欠損による損失を処理するため、貸倒引当金708千円を取り崩すこととする。

Ⅲ その他注記

新会計基準移行に係る経過措置

（1）退職給付引当金に関する経過措置

会計基準変更時差異（244,597千円）については、平成26年度に一括して費用処理している。

（2）修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。

（3）みなし償却制度の廃止に伴う経過措置

平成26年3月31日における償却資産の取得又は改良に充てるための補助金等で現に資本剰余金として整理している額については、平成26年3月31日以前に取得又は改良した資産で、取得又は改良した資産と補助金等との対応関係を個別的に把握できる資産を除いたすべての資産（ただし、補助金等を充てずに取得又は改良したことが明らかな資産は除く。）を対象とした按分等の方法を用いて合理的に整理している。